



草野城太郎さん

本市で唯一、葉ネギを水耕栽培する生産者。青年農業者の指導や、子どもたちへの食農教育の活動などを行い、農業の振興に努めている。

リレートーク 261

農業の魅力を伝えていく

Q 葉ネギの栽培を始めたきっかけは何ですか。

父が三十五年前に周年栽培が可能なたんぽろを探し、葉ネギの水耕栽培を始めました。幼い頃から農業の手伝いをしたことはほとんどなく、父から家業を継ぐような話をされたこともありませんでしたが、高校への進学を考える中で家業を継ぐことを決意し、高校・短大では農業について学びました。卒業後しばらくは父に教えてもらいながら経験を積み、現在は自分で考え、工夫しながら栽培しています。

Q 水耕栽培とは、どのように栽培しているのですか。

水を含ませたウレタンスポンジに種をまいて育苗してから、水が循環する水耕栽培の装置に植え付けをして生育します。

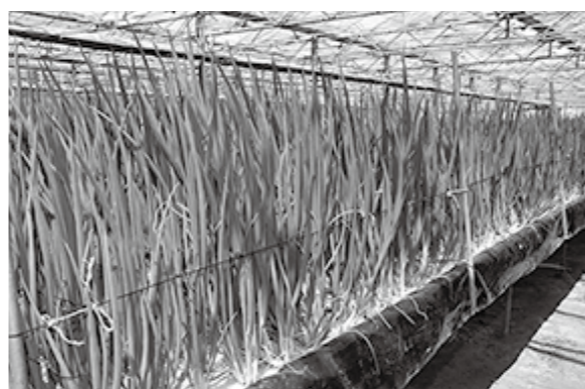
て生育します。地下水を利用して栽培しているのので、地下の深いところから水をポンプで吸い上げ、肥料を混ぜて与えます。土耕栽培より大変なのは、水の管理です。水は速いスピードで広がるため、水温などの影響が広範囲に出してしまいます。そのため、水温や肥料の濃度などをコンピューターで管理し、季節や天候に合わせてながら細かく調整しています。

Q 生産活動以外の取り組みについて教えてください。

指導農業者として、青年農業者の指導を行っています。主に研修会などを通じて、農業経営に関するアドバイスなどを行っています。また、ハウスに子どもたちを招いて、葉ネギの収穫体験を行ったり、小学校に出向いて、バケツを使ったコマ作りの指導をしたりするなど、食育に農業を取り入れた食農教育の活動にも取り組んでいます。このような体験を通して、農業やコマ作りについて知ってもらい、日本の主食であるコマを大切にしてもらいたいと思っています。



ウレタンスポンジに水を含ませ、種まきの準備をする草野さん



約2カ月で成長するため年6回収穫することができ、間もなく収穫される葉ネギ

地名の中の「いわき」

耕地整理と字名改称②

平町の新川（現新川緑地）と古川（現新川）の間で行われた耕地整理事業に伴う字名改称は、将来の市街化促進を期待して行われたもので、平町議会で提案・可決され、県に申請されましたが、一部は認可されませんでした。福島県当局から「縁故ヲ有セザル改称ハ詮議シ難キ」つまり「これまでの地名と縁のない地名は認められない」とされました。平町は県に出向いて説明しましたが、県の字名改称に対する方針は強固

地名には、地域の歴史を知るヒントが隠されています。市内各所の地名にまつわる由来などを紹介し「いわき」の歴史をひもときます。

でした。このため、明治四十四（一九一一年）一月開会の同議会において、旧字名を一部生かした字名を再度提案し、可決された後、県に次のように申請してようやく認可されました。

堂根原↓向町↓堂根町、田中↓錦町↓中町、十五町目↓旭町↓十五町目、小太郎町↓祝町↓小太郎町、下の町↓中田↓下ノ町、五反田↓栄町↓五色町、堂ノ前↓宮崎町↓堂ノ前

こうして最初に申請した向町、錦町、旭町、祝町、栄町などの新たな字名は日の目を見ることはありませんでした。

その一方で、新屋敷や新田前を月見町へ改称する案は認可されました。全く縁のない字名でしたが、道路がかつて拾五町目村と町分村の境界にあり、その道路を挟んで両側に同じ新屋敷、新田前の字名があったため、郵便物の誤配送が相次ぎ、住民も不便を感じていました。これは四つの村が合併して、平町が成立したことからは起った出来事でした。（いわき地域学會 小宅幸一）※いわき市内の昔の写真をお持ちで、提供いただける方は、ふるさと発信課（☎22・7503）へご連絡ください。



堂根町、堂ノ前、童子町などを西方に向かって見る〔昭和45（1970）年ごろ長谷川達雄氏撮影〕

こんにちは市長室から ④2



『令和元年』

いわき市長 清水 敏 男

元号が「令和」となり、新時代の幕開けです。昭和から平成に変わる際は、昭和天皇が崩御され、国民が喪に服す中での移行でしたが、今回は生前退位による移行であり、お祝いムードの中で新元号が発表されたことは前の天皇陛下が常に「象徴天皇」の在り方を模索されていたお気持ちの表れと感じています。

平成25年の市長就任以来、平成27年10月には皇太子ご夫妻が54年ぶりに来市され、トマ

トのハウス栽培をご視察されたことをはじめ、同年10月には私が皇居に参内し、新嘗祭献穀献納式において、いわき産の新米を天皇陛下に献上いたしました。また、昨年6月に本県で開催された全国植樹祭には、天皇、皇后両陛下が震災後初めて19年ぶりに本市を訪問し、宿泊されました。同年11月に開催された世界水族館会議の開会式には、秋篠宮さまが出席され、5年ぶりの来市となりました。このように、皇室と多くのご縁を賜りましたこと、大変有り難く受け止めています。

「令和」は英語で美しい調和を意味することによって市名の由来である「以和貴」に通じる元号であると受け止めています。新時代が「和」を大切に、平和な時代であることを祈ります。